

第1外科

1. 一般的項目： 消化管腹腔鏡手術件数

▶ 項目の解説

腹腔鏡下手術は、従来の開腹手術に比べ患者への侵襲が少なく美容上も良好です。腹腔鏡下手術における技術や器具の進歩により、消化管疾患に対して安全性や根治性を損なわず腹腔鏡下手術が可能となりつつあります。

消化管腹腔鏡手術件数が多いことは、最新の治療手段により患者にやさしい治療が多く行われることを意味し、病院のアクティビティを示すこととなります。

▶ 定義

腹腔鏡または胸腔鏡を用いて行われた消化管の手術件数です。

コメント

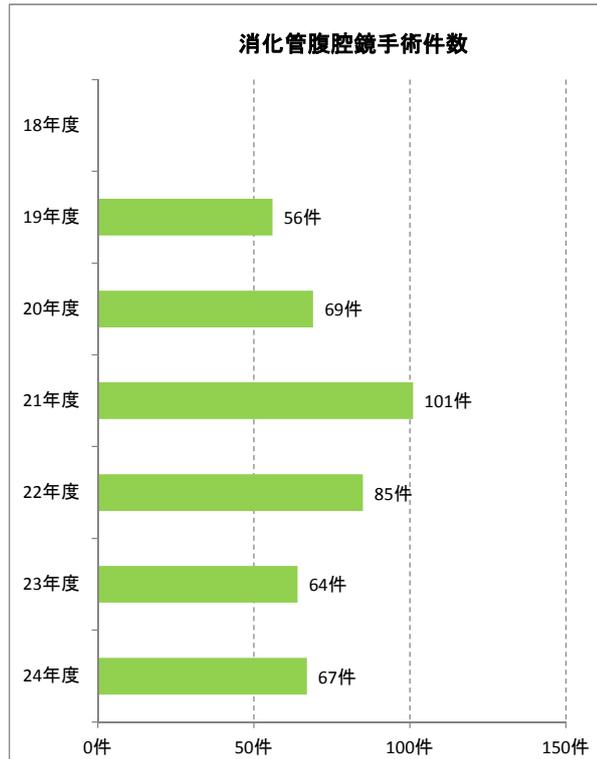
年間50-100例に行われており、今後増加することが期待されます。

算式

延手術数

単位

件



2. 大学病院特有項目： 肝胆膵高難度手術件数

▶ 項目の解説

肝胆膵領域において難度の高い手術が多くあり、これらの術式は日本肝胆膵外科学会により高難度肝胆膵外科手術として指定されています。

これらを多く行っている施設はhigh volume centerであり、術後合併症が少ないと言われ、また肝胆膵外科医の教育施設としても貢献でき、アクティビティの高い施設と言えます。

▶ 定義

日本肝胆膵外科学会により指定されている高難度肝胆膵外科手術の手術件数です。

コメント

年間50例以上が行われており、これにより当施設は宮崎県で唯一の日本肝胆膵外科学会高度技能専門医制度認定修練施設(A)に認定されています。

今後も件数が増加または維持されることが期待されます。

算式

延手術数

単位

件

